



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社  
 コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部部長 (氏名) 吉田 邦夫

TEL 046-221-2311

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,825	3.4	653	37.4	895	372.4	681	
2021年3月期第2四半期	2,732	17.3	475	28.3	189	67.8	31	91.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 859百万円 ( %) 2021年3月期第2四半期 217百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	62.73	
2021年3月期第2四半期	2.91	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	16,650	8,319	48.4
2021年3月期	15,719	7,569	46.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 8,062百万円 2021年3月期 7,334百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				10.00	10.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	0.2	1,200	2.4	1,200	17.0	800	33.8	73.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	10,937,449 株	2021年3月期	10,937,449 株
2022年3月期2Q	80,319 株	2021年3月期	80,000 株
2022年3月期2Q	10,857,322 株	2021年3月期2Q	10,857,528 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに対するワクチン接種の進展を背景とした経済活動の再開などにより、一部で景気の持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルスの感染再拡大の可能性や世界的な半導体不足、原燃料価格の高騰等、厳しい状況が続いております。

このような厳しい環境の下、東南アジアでは感染拡大に伴う生産活動の制限や、港湾混雑による出荷遅延等も発生しておりますが、主力であるマレーシア工場の生産体制の維持に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,825百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益は653百万円（前年同四半期比37.4%増）、営業外収益に為替差益233百万円を計上し、経常利益は895百万円（前年同四半期比372.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は681百万円（前年同四半期比2052.4%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① ヘルスケア事業

ヘルスケア事業は、マレーシアでの設備の新設及び更新にも見通しが立ち、工場運営においても新型コロナウイルス対策を遵守しつつ、従来設備の稼働率の向上に努めました。また、インバウンド需要の回復は見込めないものの、ポリウレタン製コンドームを中心に輸出売上が堅調に推移しました。

この結果、売上高は2,151百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は832百万円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

#### ② プラスチック製品事業

プラスチック製品事業は、経済活動の正常化が進む中で、原油需要の高まりによる需給のひっ迫が広がり、原油価格の高騰が続いています。このような原価高に対応し、生産性の向上を図る一方、事業の採算性を考慮し、販売価格への転嫁を慎重に進めています。

この結果、売上高は570百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は34百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

#### ③ その他

入浴・介護サービス及びその他の事業の売上高は103百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業損失は39百万円（前年同四半期は営業損失45百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、機械装置及び運搬具の増加等により、前連結会計年度末に比べ931百万円増加し、16,650百万円となりました。

負債合計は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、8,330百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ750百万円増加し、8,319百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は1.7ポイント増加し、48.4%（前連結会計年度末は46.7%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月19日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,474,580	1,624,146
受取手形及び売掛金	971,147	970,315
電子記録債権	1,085,463	1,129,155
棚卸資産	1,570,887	1,666,492
その他	60,775	96,938
貸倒引当金	△31,966	△30,545
流動資産合計	5,130,888	5,456,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,423,450	3,517,172
減価償却累計額	△1,517,026	△1,565,400
建物及び構築物(純額)	1,906,424	1,951,772
機械装置及び運搬具	7,948,809	10,952,889
減価償却累計額	△3,893,332	△4,161,855
機械装置及び運搬具(純額)	4,055,477	6,791,034
土地	1,046,943	1,052,183
建設仮勘定	2,785,640	602,899
その他	250,625	258,742
減価償却累計額	△198,263	△200,109
その他(純額)	52,361	58,633
有形固定資産合計	9,846,847	10,456,523
無形固定資産	15,795	14,499
投資その他の資産		
投資有価証券	461,419	463,323
繰延税金資産	170,435	164,801
その他	97,439	97,675
貸倒引当金	△3,274	△2,736
投資その他の資産合計	726,020	723,064
固定資産合計	10,588,664	11,194,087
資産合計	15,719,553	16,650,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,099	200,017
電子記録債務	214,084	221,057
短期借入金	5,005,374	5,370,507
未払法人税等	178,540	208,545
賞与引当金	78,362	88,725
その他	515,231	627,650
流動負債合計	6,183,693	6,716,504
固定負債		
長期借入金	1,456,967	1,110,758
役員退職慰労引当金	397,266	407,211
退職給付に係る負債	100,452	85,384
資産除去債務	5,381	5,381
長期預り保証金	3,100	3,100
その他	2,927	2,391
固定負債合計	1,966,093	1,614,226
負債合計	8,149,787	8,330,730
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	676,518	676,518
利益剰余金	7,009,376	7,581,866
自己株式	△35,455	△35,796
株主資本合計	8,197,875	8,770,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,261	188,854
為替換算調整勘定	△1,049,403	△896,314
その他の包括利益累計額合計	△863,141	△707,460
非支配株主持分	235,031	257,295
純資産合計	7,569,765	8,319,859
負債純資産合計	15,719,553	16,650,590

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	2,732,028	2,825,583
売上原価	1,617,909	1,600,352
売上総利益	1,114,119	1,225,230
販売費及び一般管理費	638,400	571,607
営業利益	475,719	653,623
営業外収益		
受取利息	544	643
受取配当金	8,114	8,256
為替差益	-	233,410
作業くず売却益	4,525	4,370
助成金収入	9,180	5,260
その他	9,307	10,212
営業外収益合計	31,671	262,153
営業外費用		
支払利息	24,274	20,148
為替差損	286,447	-
持分法による投資損失	7,067	41
その他	34	0
営業外費用合計	317,825	20,189
経常利益	189,565	895,587
特別利益		
固定資産売却益	0	26
特別利益合計	0	26
特別損失		
固定資産除売却損	3,676	471
特別損失合計	3,676	471
税金等調整前四半期純利益	185,889	895,142
法人税等	173,293	201,413
四半期純利益	12,596	693,728
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,045	12,664
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,641	681,064

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	12,596	693,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,446	2,592
為替換算調整勘定	△252,741	160,883
持分法適用会社に対する持分相当額	882	1,804
その他の包括利益合計	△230,412	165,280
四半期包括利益	△217,815	859,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△185,284	836,745
非支配株主に係る四半期包括利益	△32,531	22,263

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は、以下のとおりです。

#### (1) 国内販売

収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内の販売において、出荷時から当該製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

#### (2) 輸出版売

輸出版売においては主に船積み時に収益を認識しておりましたが、インコタームズで定められた貿易条件に基づき危険負担が顧客に移転した時に収益を認識する方法に変更しております。

#### (3) 販売手数料

従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました販売手数料のうち一部を取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は82百万円減少し、販売費及び一般管理費は82百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益、利益剰余金の当期首残高に影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。